




幼稚園型認定こども園



施設案内 【令和6年度募集要項】



学校法人草花学園くさばな幼稚園
〒197-0802
東京都あきる野市草花3060番地
TEL：042-558-3018
FAX：042-559-3071

もくじ

施設概要	2ページ
保育方針	3ページ
学級編成	4ページ
デイリープログラム、年間行事	5～6ページ
募集要項	7～8ページ
預かり保育	9ページ
未就園児定期的な預かり事業	10ページ
プレ保育	11ページ
保育所体験	12ページ
よくわる質問	13ページ
保育の様子	14ページ



学校法人 草花学園 草花幼稚園

ごあいさつ



くさばな幼稚園は令和6年4月から入園を希望される3歳～5歳までの園児を募集します。

幼児期に得る学びは、毎日の生活の中で知らず知らずに身につけていき、大抵、気づくとできるようになっているものです。そんなお子さまたちにとって、とても大切な幼児期を共に過ごすことができることを、嬉しく思っています。

一人ひとりのお子さまとしっかり向き合い、成長のお手伝いをさせて頂きたいと願っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

くさばな幼稚園

園長 影山 幸江

■法人名 / 施設名	学校法人 草花学園 くさばな幼稚園
■所在地	〒197-0802 東京都あきる野市草花3060番地
■電話 / FAX番号	TEL : 042-558-3018 / FAX : 042-559-3071
■代表者名	理事長 山城清邦
■設立年月日	1974 (昭和49) 年
■職員数	22名 (うち教諭11名・保育士1名)
■事業内容	幼稚園、地域交流事業、子育て支援事業
■1号児定員	満3歳児10名、3歳児20名、4歳児22名、5歳児23名
■2号児定員	3歳児2名、4歳児3名、5歳児5名

沿革

くさばな幼稚園は、1974 (昭和49) 年、当時の大行寺住職山城祐尊がお寺の境内に設立しました。この大行寺では、江戸時代には寺子屋も開かれており、明治の学制施行の際には、現在の多西・草花小学校の前身である「開明学校」が置かれるなど、地域の学校教育の草分け的役割を果たしています。早くから幼児教育に関心の深かった住職が、寺及び周辺環境を生かし、幼児がのびのび遊びながら、心身ともに成長できる場所として、幼稚園を設立しました。1986 (昭和61) 年に学校法人を設立し、1987 (昭和62) 年に園舎を全面改築、その後増改築を行い、2019 (平成31) 年に幼稚園型認定こども園となり現在に至っています。

当園が大切にしたい考え方 教育・保育方針



一番だいじなことは人間観

本園は、人それぞれに仏性（ぶっしょう）があるとす
る仏教的人間観を基礎に置いています。



保育 = 「教育」 + 「養護」

ここが小学校以上の学校教育とは違うところです。幼児には、就
学前の教育と同時に、暖かく包み込む養護が不可欠です。多様な
世界の体験の機会を用意し、人とのつながりである社会性と世界
への興味と関心を養いつつ、その成長のお手伝いをすることを使
命と考えています。



子どもと保育者との関係が暖かであること

子どもにとって保育者（教諭＝先生＝担任）は、最高のお手本
であり、育つ環境を一身に体現している存在です。保育者との
家族的で暖かな交流を通じて、子どもが快適で安心できる人間
関係のなかで育まれるということが、子どもの成長にとって最
も大切なことであり、これが保育の基本であると考えていま
す。



あるがままのこどもの姿をだいじにすること

子どもにとって保育者（教諭＝先生＝担任）は、最高のお手本であり、
育つ環境を一身に体現している存在です。保育者との家族的で暖かな交
流を通じて、子どもが快適で安心できる人間関係のなかで育まれるとい
うことが、子どもの成長にとって最も大切なことであり、これが保育の
基本であると考えています



子どもが生活しやすい場所であること

幼稚園は子どもが生活しつつ学ぶところです。子どもが家庭と同じ気持
ちで生活するためには、なにか必要でなにか必要でないか、すべての選
択の基準をそこにおいて保育を組み立てて行くよう努めています。

当園が大切にしたい考え方

学級編成について

※その年度の幼児数によってクラスの数変動します



年齢別編成
(=いわゆる横割り)とします。

担任1名あたりの幼児数は、おおよそ、3歳児は15から20名前後、4歳児以上は20から25名程度を標準とします。

給食について



すべて園内で調理する自家製給食です。献立は栄養士が作成しています。

和・洋・中とバリエーション豊富なメニュー、季節の行事ならではのメニューなど、園で作る美味しい給食は、子ども達にとってだけでなく、職員にとっても大きな活力になっています。



デイリープログラム

8:40	当園開始 全園児で教諭とともに自由に遊ぶ	7:40	保育標準時間のお子さま順次登園
10:00	学級別の活動	8:30	保育短時間のお子さま順次登園
11:30	給食配膳開始（水曜日は降園開始） 給食後は自由に遊ぶ（学級別の活動）	8:40	1号児と同じ内容で一緒に保育します
14:00	降園開始（月・火・木・金曜日）	10:00	
		11:30	
		14:00	
		16:30	保育短時間のお子さま順次降園
		18:40	保育標準時間のお子さま順次降園

年間行事

4月	入園式・花まつり	10月	運動会・おにぎり散歩
5月	おにぎり散歩・遠足	11月	遠足・七五三・保育参観・親子観劇会
6月	くさばなファミリーの日（親子で参加行事）	12月	成道会・クリスマス会
7月	夕涼み会・年長お楽しみ会	1月	凧あげ
8月	夏休み・夏期保育	2月	涅槃会
9月	敬老の日の集い	3月	子ども会（発表会）・卒園式
毎月	誕生会・避難訓練		



くさばな幼稚園の保育の特徴は

日本の教育者・児童心理学者で、日本の幼児教育の先駆けとなった東京女子高等師範学校附属幼稚園（現・お茶の水女子大学附属幼稚園）で園長を務めた、倉橋惣三先生の元で保育を学んだ、八坂富子先生を初代園長として迎え、当園の歴史は始まりました。以来、倉橋惣三先生が説いた保育方針を大切に受け継いでいます。

自然豊かな環境の中で、子どもの興味や主体性を尊重し、その様子に合わせながら大人が「ワクワク」を遊びの中に仕掛け、子どもの感受性を豊かに刺激できるよう保育に努めています。



行事の特長

行事は、こどもの成長を表現したり、確かめたり出来る大切な機会のひとつです。

さまざまな行事があります。しかし、何よりもまず、こども自身が楽しみながらのものでなくてはならないと考えています。成長に合わせた、無理のない内容であるかどうか、一日のなかでの時間帯はどうか、こどもの立場に立ったものを心掛け、「見せる」ためだけのものとならないよう（保護者のためのものではなく、こどものため）、じゅうぶん練った内容となるよう努めています。

おにぎりさんぽ

春・秋それぞれの遠足前に必ず行う、おにぎり・水筒のみを持って目的地まで「歩く」ことを目的とした、当園独自の行事です。開園当時から現在に至るまでの、こどもたちの姿を比較した時に感じる変化の一つとして、長距離を歩く能力の低下が挙げられます。昔は園バスを使用せずとも、最寄りの福生駅まで往復約4キロ歩いて遠足に行くこともありましたが、今ではそうした行程はとても難しくなっていました。

生活様式の変化の中で自動車移動が増えたことにより、こども達が自らの足で「歩く」機会は大幅に減少し、目的地まで徒歩で移動することに「疲れる」と抵抗を示すこどももいます。

しかし、「歩く」ことは体力の基本であり、道々に咲く花の香に触れたり、吹く風の心地良さを感じたり、季節により変化する木々の色づきなどに気づいたり、行き交う人と挨拶をしたりと、車窓からとは違うさまざまな刺激が「歩く」ことで味わえ、こどもの脳の発達にもとても重要な影響を及ぼすとされています。

そのため、当園は同じ敷地内にある大行寺境内や、近隣へ散歩に出る機会も多く設けていますが、春・秋の遠足前に、普段の散歩よりも長い距離を「歩く」という経験を、先生や友達と一緒に楽しみながら行えるようにしています。



募集要項 学校法人 草花学園 くさばな幼稚園

1. 募集人数 (年齢は、いずれも2024(令和6)年4月2日現在の満年齢です)

【内訳】

満3歳児 1号児 10名

(令和3(2021)年4月2日～令和4(2022)年2月28日生まれの令和5年度中に満3歳になるお子さまです。5月以降の入園となります。)

3歳児 1号児 20名 2号児 2名

(令和5年度に満3歳で入園した方と、2歳児クラス「にじ組」在籍者で入園を希望する方を含みます)

4歳児 1号児 2名 2号児 1名

5歳児 1号児 10名 2号児 0名

※ 1号児：通常の幼稚園児です

※ 2号児：保護者の就労状況で申請により市から認定されます。

標準認定の場合は1日11時間、短時間認定の場合は1日8時間の保育を受けることができます。

※ 年齢別募集人数は変更する場合があります。また募集人数は令和5年10月1日時点での受け入れ可能な人数です。

2. 願書受付

日時 2023(令和5)年11月1日(水) 午前8時より

場所 くさばな幼稚園

3. 手続き

所定の願書にご記入のうえ、面接料3,000円を添えてお申し込みください

4. 面接

面接時間は願書受付時に個々にご案内いたします

初回面接日 令和5年11月2日(木) 午前9時から

5. 園への納付金について

① 入園準備金 なし

② 保育料 無償(ただし給食にかかる経費及び遠足費等の実費相当分・個人負担分等は有償です)

③ 給食費・副食費

a 1号児給食費(園の自家製給食です)

月額 5,300円 (年額63,600円を12等分してお納めいただきますので、8月もご納付いただきます)

内訳 主食費500円 副食費2,800円 諸経費2,000円 計5,300円

b 2号児副食費(園の自家製給食です)

月額4,800円 (年額57,600円を12等分してお納めいただきますので、8月もご納付いただきます)

④ 特定負担金(1・2号児とも)

a 施設設備費(1号児は納付後、市から全額還付されます)

月額 1,900円(年額22,800円を12等分してお納めいただきます)

b 教育環境充実費(1号児は納付後、市から全額還付されます)

月額 3,000円(年額36,000円を12等分してお納めいただきます)

⑤ バス代(ご利用の方のみ)

往復利用の方 月額 3,700円(年額44,400円を12等分してお納めいただきます)

片道利用の方 月額 2,000円(年額24,000円を12等分してお納めいただきます)

※ 最少限1学期単位でご利用ください。月の中途の利用開始・取り止めの場合も日割り計算はいたしません

- ⑥ キンダーくらぶ利用料（預かり保育利用料）（ご利用の方のみ）
1時間あたり150円（詳細については8ページ「キンダーくらぶのご案内」をご覧ください）

※ 上記諸経費に対し国とあきる野市から、一部または全額の補助があります。詳しくは下記「7 参考：保護者のみなさまへの国・市からの補助金について」をご覧ください

6. その他の経費

制服制帽はありません、また園を通して購入していただくお揃いの衣服や靴等の用品はありません

（自由で活動しやすい服装での登園をお願いします）

- ① カラー帽子代、名前スタンプ、個人購入絵本代、遠足代、写真などの費用は実費となります

- ② 保護会費 令和6年度より保護者会廃止により、固定徴収なし

※ 新学期用品（クレヨン、粘土、など）は園の負担で用意します（ただし補充分は自己負担となります）

7. 参考：保護者のみなさまへの補助金について

※ 補助金には細かな条件があり、また年度により金額や条件が変更される可能性があります。詳しくはあきる野市保育課へおたずねください。あきる野市保育課 042-558-1111（代表）（他市町村に住民登録をされている方は、各市町村におたずねください）

① 給食材料費補助金

a 1号児給食材料費補助金（毎月の差額払い）

主食費+副食費=3,300円に対しては、あきる野市から第1子に対しては1,800円、就学前のきょうだい数を数えて第2子については3,300円の補助があります。

（一定の所得未満の方は免除されます。この場合申請の必要はありません）

b 2号児副食費補助金（毎月の差額払い）

副食費4,500円に対しては、あきる野市から第1子に対しては500円、就学前のきょうだい数を数えて第2子については4,500円の補助があります（一定の所得未満の方は免除されます。この場合申請の必要はありません）

- ② 保護者負担軽減費補助金（1号児のみ対象）（いったん園へ納付後、市から保護者へ年2回直接還付されます）前記5 特定負担金の施設設備費及び教育環境充実費に対して、東京都及び市より月額合計5,200円を限度に補助されます

（当園の場合は4,900円）

- ③ 預かり保育料補助金（毎月の差額払い。補助金を差し引いた額を園へ納めます）

1号児の方で、保護者の申請により就労などの理由で市から認定された場合は、日額450円が市から補助されます（限度額月額11,300円）

※ 園の納付金・その他の経費は、ゆうちょ銀行口座からの振替による納付をお願いしています。

※ 園の納付金・その他の経費は、次年度以降、在園中の方にも改定をお願いする場合があります。



1

預かり保育



キンダークラブ（預かり保育） のご紹介

キンダークラブは、主として本園の「1号児（1号子ども）」及び2号児（保育短時間認定）を対象に、通常の保育時間前及び終了後、ならびに長期の休暇中に実施しています。これはご家庭のさまざまな都合で園児の保護ができない場合、ご希望により、幼稚園が保護者のみなさまに代わってお子さま方のケアを一定の条件のもとにおこなうものです。

(1) 実施する曜日 原則として月曜日から金曜日まで（春、夏及び冬休みを含みます。）

(2) 実施する時間

- a. 早朝保育…………… 午前7時40分から8時40分まで
- b. 平常保育(午後2時降園)の日…………… 午後2時から午後6時00分まで
- c. 半日保育(午前11時半降園)の日…………… 午前11時30分から午後6時00分まで
- d. 長期休暇中(春・夏・冬休み) …… 午前7時40分から午後6時00分まで

※ 上記c、dの場合、ご希望の方には給食をお出しします。下記(5)参照

(3) ご利用料 1時間あたり おひとり 150円（教材・おやつ代を含む）

(4) ご利用方法 ご利用する前日までに、スマートフォン専用アプリでお申し込みください。

※ ご注意：次のような場合はキンダーくらぶを休みます。

- a. 幼稚園の行事がある場合（入園式・卒園式・各学期終業式・こども会など）
- b. 春休み・夏休み・冬休みの間の一定期間
- c. 感染のおそれのある病気が流行しているとき
- d. その他園長が判断したとき

* 入園間もないお子さまや、個々のお子さまの健康状態・精神状態によっては、ご利用をお断りする場合があります。

※ 補助金について：保護者の申請により、保護者の就労状況などを要件に市から認定された場合、利用料に対し1日450円、月額11,300円を限度に補助が受けられます（新2号児）。

ただし、この場合でも幼稚園の保育時間・保育日数は1号児と同じです）。

(5) 給食提供について（事前予約制。1食350円 先着10名）

※ 受付 【 前月10日 0時 ~ 利用5日前 0時 】

（スマートフォン専用アプリでキンダーくらぶと別途申し込みが必要です）

※ 申込後のキャンセルは給食費350円を実費負担いただきます。

※ キンダーくらぶの給食提供のみアレルギー除去食の対応はできませんのでご承知ください。

その他実施事業



2 未就園児預かり事業

未就園児預かり事業のご案内

未就園児の定期的な預かり事業は、多様な他者との関わりの機会の創出のため、保護者の就労等の有無にかかわらず、保育所、幼稚園、認定こども園等を利用してないあきる野市在住未就園児の定期的な預かりを行う事業です。

この事業は、次のようなことを目的としています。

- ・未就園児を定期的に預かることで、保育者や他のこどもたちとともに過ごす経験を通じ、こどもの育ちを応援すること。
- ・育児負担を抱える保護者に対しても、こどもに対する関わりや遊びなどについて専門的な理解を持つ保育者との関わりにより、孤立感や不安感の解消につなげること。

入会の案内

定員について

内容	日時
申込書配布	随時配布
見学	随時対応いたします
面談	申込書提出の際にお知らせいたします。

0歳	1日	1名	(2023年4月2日～2024年4月1日生)	(誕生日を迎えた後)
1歳児	1日	2名	(2022年4月2日～2023年4月1日生)	(誕生日を迎える前)
1歳児	1日	3名	(2022年4月2日～2023年4月1日生)	(誕生日を迎えた後)
2歳児	1日	8名	(2021年4月2日～2022年4月1日生)	(誕生日を迎える前)

- 必ず面接を行っていただきます。
- 見学时に重要事項説明書をお渡しいたします。
重要事項説明書と市の事務手続きに伴う同意書を提出していただきます。

預かり保育時間について

費用

- 【月・火・木・金】
9:00～14:00まで ※延長保育17:00まで

- 【水曜日】
9:00～11:30まで ※延長保育は17:00まで

- 【休園日】
土・日曜日、祝祭日、お盆、年末年始、当園が定めた日

※年齢区分によって利用可能時間が変わります

- 保育料
週1コース (半日コース) : 3,000円
週1コース (1日コース) : 4,800円
週2コース (半日コース) : 6,000円
週2コース (1日コース) : 9,600円
週3以上コース (半日コース) : 9,000円
週3以上コース (1日コース) : 14,400円

- 給食費: 1食 300円 ※実費

- 延長保育料: 1時間 150円 ※実費

※第2子以降のお子さまから上記金額は無料となります。



その他 実費負担

- バス利用
登降園にバスを利用した場合 1乗車あたり120円 (往復240円)

- その他個人に属する費用





③ プレ保育



初めて家庭から離れるお子さまが、安心して楽しく過ごせる場を提供いたします。

日々の遊びや生活から様々な経験を通して、お子さまが成長していける保育を目指しています。

また、翌年のかわ組（年少児クラス）へのスムーズな移行のための準備期間にもなります。

家庭的な雰囲気の中で、保育者がたくさんの愛情をもって関わり、保護者の皆さまと一緒にお子さまの成長を見守りたいと考えております。

1.入会の対象となるお子さま

未就園児の定期的な預かり事業を利用できない、あきる野市以外在住のお子さまで、くさばな幼稚園へ満3歳入園または3歳入園をご希望の方。

2.入会受付

毎年11月1日（水）8：00から次年度分の受付を随時いたします。

別紙入会申込書をご記入の上、お申し込みください。

申込書提出時に面談の時間をお知らせいたします。

3.保育時間について

原則月曜日から金曜日の午前8時40分から午前11時30分まで。

ご希望の方には給食を提供し、午後2時まで保育します。

※ご希望の曜日が祝日にあたる場合などを考慮して、すべての方の年間保育日数が同じ回数となるよう振替・調整します。

4.定員

各曜日10名まで

5.費用について

●保育料

週1コース（半日コース）：3,000円

週1コース（1日コース）：6,000円

週2コース（半日コース）：6,000円

週2コース（1日コース）：12,000円

●給食費：1食 300円 ※実費

6.その他のお願い

・感染症の流行、悪天候時など園の判断で休園する場合があります。

・原則として入会后1週間は保護者の付き添いをお願いします。ただし、お子さまの個々の様子によっては、期間の短縮または延長をお願いすることがあります。

・令和6年5月以降、満3歳に達した翌月から、ご希望があれば、お子さまの様子をご相談の上、「満3歳児」としての入園ができます。入園後の保育は今まで通りにじ組で行います。その他詳細は7～8ページの募集要項をご覧ください。



4 子育て支援事業（保育所体験）

「なかよし学級」

子どもは、日々成長しているのですが、ひとりで育てているとそれも実感として感じられず、これで良いのかと時々不安に思われることもあることでしょう。

今は、育児書やテレビ等で情報は多すぎる位入ってくる時代ですが、何といても同じような子育て中の方々と交わりをもつ時間が何よりほっとできる時間かも知れません。その中でお母さまがリフレッシュされることが、お子さまにも良いことだと思います。

また、幼稚園での子どもの姿を見ていると、「子どもは子どもの中で育つ」ということがよくわかります。入園前の幼いお子さまも同じことです。出来るだけ子どもどうしの触れ合いができる場をもつことも大切です。

そこで、くさばな幼稚園では下記の要領で『なかよし学級』を開催しております。どうぞお気軽にご参加くださいますようお願いいたします。

くさばな幼稚園に関わりのない方でも結構ですので、お知り合いの方もどうぞお誘いください。

対象年齢

0才～ 就園前のお子さま（親子でご参加ください）

場所

くさばな幼稚園2階ホール・園庭

実施日

原則として月2回第1・3 木曜日（夏休み、冬休み、春休みの期間中は休みます）
午前10時～ 11時30分

費用

無料です。

内容

自由に遊ぶ。

お遊戯、音楽的要素を持つ活動、粘土の活動、その他季節にふさわしい活動など。その他、育児上のお悩みなどお持ちでしたら、ご相談ください。

子育てについての情報も随時お届けします。



Q&A（よくある質問と回答）

Q 子どもの自主性を尊重できる遊びは具体的にどのような遊びですか？

こどもの自主性を尊重できる遊びはたくさんあります。その一つの例が砂場遊びで、砂場遊びはこどもたちにとって極めて重要だと考えています。さらさらとした砂や、水を含んだ砂の感触の違いを味わったり、シャベルで全身を使って掘り起こし、「山」「トンネル」を作ったり、時には水を流し、大きな「川」「島」が出来たり…。そうかと思えば、型抜きや調理器具を使い、「レストラン」「キッチン」に早変わり。一人で黙々と、まるで小さな研究者のようにじっくり楽しむ姿もあれば、友達とアイデアを出し合い協力しながら楽しむ姿もあり。こうしたこどもたちと一緒に大人も楽しみ、時には手助けもしますが、あまり話しかけ過ぎたり、指示し過ぎたりしないようにしています。こどもたちの様々な発見・驚き・試行錯誤・創造といった、大きな楽しみが砂場は詰まっているのです。

Q 幼稚園で勉強を教えてくださいませんか

「遊びこそが学び」

くさばな幼稚園では「自由保育」を開園当初から大切にしています。ペーパー（机上の学び）ではなく、「遊びこそが学び」と考えています。

もちろん、時には季節の製作などいわゆる「一斉保育」を行う場面もありますが、こどもたちの遊びの中での「知りたい」「やってみたい」という自発的な気持ちを大切に、直接触れて感じる体験をしたり試行錯誤したり、同年代の友達とやりとりをしたりすることが、やがてこどもの主体性・自尊心・忍耐力・社会的スキル・他者との関係性を構築する能力などを伸ばすことができると考えています。近年ではこうした単純に「読み・書き・計算」の数値では測れない、「非認知能力」の大切さが世界中で語られるようになってきました。

幼児期はまさに人間としての土壌、根元の部分であり、いかに豊かな経験をするかがとても重要です。

まるで時間割のように「〇〇の時間」「△△の時間」と大人の都合で活動を区切るのではなく、また「学び」の隙間時間が「遊び」なのではなく、「遊び」こそが「学び」そのものなのです。

そのしっかりとした土壌があってこそ、小学校以降のいわゆる教科的学びを支える力につながると考えています。

Q どのような給食でしょうか？

【すべて園内で調理する自家製給食です】

内容は、主食、副菜、汁もの、デザートなどの組み合わせで、主食は米飯、パンでバランスを考え、食文化に配慮したものとなるよう、取りあわせています。盛りつけもそれぞれ食器を用意し、家庭での食事と異ならないよう、努めています。献立によって、材料を細かく刻んだりして、こどもにも食べやすいよう、調理しています。なお、献立は栄養士が作成しており、1食につき平均熱量としては約400キロカロリー、たんぱく質15グラムを基準としています。

【それぞれ食器を用意する意味】

最近の日本の家庭では、いわゆる「ワンプレート式」や「お弁当箱式」で食事をする機会が増え、その方式を採用する幼稚園・保育園も多くあります。家庭においては保護者が洗い物を減らせますし、保育現場においては盛付など、管理しやすいというメリットもあります。しかし一方で、大きくなって食器が正しく持てなかったり、「犬食い」をする子どもが増えているとされています。日本には古来から、器・茶碗・湯呑などをはじめとする世界に誇るべき焼き物の文化があります。日本で生活し、育っていくこどもたちにも、これらに触れ、正しく扱うことを日々の食事の場面から学んで欲しいと思っています。

・熱い物を入れれば器が温まり、そこから伝わるぬくもり。

・きちんと手を添えなければ、汁物を上手く飲めないこと。

・食べたい物の食器が遠くにあれば、他の食器の位置を考えながら手をのぼし、取ること。

このように、大それた「マナー教室」など開かずとも、一度の食事から学べることは実にたくさんあるのです。たかが一食。されど、一食。ワンプレート式を否定するつもりはありませんが、食事も楽しい学びの場のひとつであるからこそ、それぞれ食器を用意して、食器を持って食べられるように準備をしています。先生や友達と一緒に食事をするを通して、自然と食器を持つ習慣ができるようになるこども達の成長には驚かされます。

Q 保護者会による保護者参加会議や行事の頻度は？

令和5年度までは保護者会を組織しておりましたが、令和6年度からくさばな幼稚園では保護者会を組織しておりません。



保育の様子





学校法人 草花学園 くさばな幼稚園

(幼稚園型認定こども園)

